

南下浦中学校 教育計画

学校教育目標・経営方針

三浦市立南下浦中学校長 市川昌樹

1. 学校教育目標

自立・共生・貢献

～自ら生きる・ともに生きる・社会に生きる～

2. めざす生徒像

高め合い、挑戦する生徒

- 【自立】自分のよさを見だし、自ら判断し、自ら行動する生徒
- 【共生】仲間のよさを認め、互いを尊重しながらよりよく生きようとする生徒
- 【貢献】郷土三浦を愛し、地域・社会に貢献する生徒

3. 期待する教師像

学び続け、挑戦する教師

- (1) 生徒のよきモデルとなる教師
- (2) 生徒の気持ちに寄り添う教師
- (3) 自分のよいところを発揮する教師
- (4) 仲間と協働・協調しながら挑戦する教師

4. 学校経営の基本方針

互いの『よさ』を認め合い、高め合い、共に成長を喜び合える学校を創造しよう

(1) 安全を守り、安心して学校生活を送れる環境づくりを進める。

- ・ 言葉の暴力を含めたあらゆる暴力の根絶を通して、安心・安全な学校生活を送ることのできる基盤を確立する。
- ・ 学習面や生活面で生徒の不安感を把握し学校全体で対応することで、安心して過ごすことのできる環境を整える。
- ・ 集団生活の秩序を乱すような問題行動、特に、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努め、組織的に対応をはかる。

(2) 授業（各教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間、特別活動）を通して、学校教育目標の実現に挑戦する。

- ・ 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力、学びに向かう姿勢（学習内容に向き合う姿勢）を育てる。
- ・ 個別最適・協働を意識した校内研究を充実させ、授業力・授業改善力の向上を図る。
- ・ 家庭と連携を図りながら、学級指導・教科指導の両面から生徒の学習習慣が確立するよう努める。
- ・ 教育活動全体を通して人権・道徳教育の充実を図る。
- ・ 体育・健康に関する指導の充実を図る。

(3) 保護者・地域、関係諸機関との連携を積極的に図り、地域に開かれた学校づくりを進める。

- ・ 学校通信、学年通信、学級通信、マチコミメールを活用するなど、積極的に学校の様子や情報を発信する。
- ・ 地域や保護者に授業や諸行事を積極的に公開する。
- ・ 市教育委員会、三崎警察署、児童相談所等、関係諸機関と積極的かつ緊密に連携を図る。

(4) 教職員のライフ・ライフ・バランス（日々の生活 [Life] と自らの人生 [Life] の両立）の実現をはかる。

- ・ 担当する校務分掌及びそのミッションを明確にするとともに、チームでその遂行にあたる。
- ・ 出退勤時間を適切に管理し、時間外勤務が常態化しないようにする。
- ・ 部活動ガイドラインを遵守する（通常 平日：週4日以内、土日：1日以内を上限とする）。
- ・ 計画的に年次休暇を取得する。

◎ 教職員の行動指針：

挑戦 ・ 認め合い ・ 感謝

5. 重点指導目標

(1) 【学習指導】：一人ひとりの思いを大切に → 自立的な学習者を育てよう！

学ぶ意義の実感

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む生徒の育成

- ① 授業規律を守り、粘り強く学習に取り組んでいる。(学習態度)
- ② 自分の考えをもち、他者との対話を通して考えを深めている。(対話的な学習)
- ③ 「見通し」をもって授業に臨み、単元終了後などで「振り返り」を行っている。(見通しと振り返り)
- ④ 家庭での学習に自ら取り組んでいる。(自学自習)

(2) 【道徳・特活・総合の指導】：一人ひとりの居場所づくりを → 仲間と力を合わせるよさを体験させよう！

共に過ごす感動

自己肯定感をもち、互いに協働しながら、持続可能な社会の創り手となろうとする生徒の育成

- ① 自分のよいところに気づき、自己の特性を活かしながら諸活動に取り組んでいる。(自己肯定感)
- ② 人権感覚を身に付け、他人や社会との関わりの中で実践している。(人権感覚)
- ③ 集団の一員として協力的な言動を取っている。(集団生活)
- ④ よりよい学校生活・持続可能な社会を築くために、自分で考え、行動している。(他者への貢献)

(3) 【生活指導】：一人ひとりに心を込めて → 社会の一員としての自覚を促そう！

地域に愛される南中

基本的な生活習慣を定着し、よりよい人間関係を形成しながら、自己実現を図ろうとする生徒の育成

- ① 秩序や規律のある生活を送るために、きまりの意義を理解し、礼節をふまえ、時と場に応じた言動をとっている。(規律・礼儀・あいさつ)
- ② 暴力や暴言、いじめのない、安心して安全な生活を送っている。(安心・安全な生活)
- ③ 互いの人格と個性を尊重し、よりよい人間関係を築いている。(望ましい人間関係)
- ④ 自分のよさを発揮するための主体的な進路選択を通して、自己実現を図ろうとしている。(生き方としての進路)

6. 令和8年度 校内分掌の重点課題

(1) 【学校運営 G】 令和9年度以降の教育課程編成

- ◎ 中教審論点整理を踏まえ、教育活動の充実に向けた柔軟な教育課程の編成とカリキュラム・マネジメント

(2) 【地域連携 G】

- ◎ P T A 活動の充実 < P T A 活動の活性化 > 【PTA 事務局】
- ◎ 小中連携の推進 < 小中連携・具体の推進 > 【生活指導委員会・教科指導委員会と連携】

(3) 【教科指導 G】

学ぶ意義の実感

- ◎ 教科指導の充実 < 信頼される学習評価の実現 > 【教科指導委員会】
 - ・ 「見通しと振り返り」など授業で大切にしている考え方に関する情報発信
 - ・ 家庭学習の在り方（家庭学習の中身と質と量など）の検討
- ◎ 学校研究の推進 < 授業研究の充実に向けた提案 > 【研究推進委員会】
 - ・ 教員の個別最適な学び・協働的な学びを基盤とした学校研究の推進

(4) 【特活総合 G】

(人権・総合・学活・進路・情報・図書館・みうら学海洋教育・生徒会・部活動等)

共に過ごす感動

- ◎ 総合的な学習の時間・全体計画の再整備 < 3年間を見通した各学年の活動内容の構築 > 【総合部会】
 - < 校外行事と総合の関連性の整理（修学旅行・キャンプの目的・内容の充実） > 【行事検討委員会】
- ◎ 人権教育・3年間のプログラム化 < 各学年の活動（体験）内容の再構成 > 【人権教育担当】
- ◎ 道徳教育の意義の再確認・実施方法の検討 < 各学年の指導内容・方法の再構成 > 【道徳教育担当】
- ◎ 生徒会本部役員の活躍機会保障と異学年交流の活性化【生徒会指導委員会】

(5) 【生活指導 G】

(生活指導委員会・インクルーシブ教育推進委員会)

地域に愛される南中

- ◎ インクルーシブ教育(特別支援教育体制)の充実 < 「共に学ぶ」体制の構築 > 【インクルーシブ教育推進委員会】
 - < 特別支援学級在籍生徒の保護者会の開催～横のつながりで支え合う体制構築 > < 多様な進路セミナーの開催 >
- ◎ 生徒指導体制の確立・研修の推進 【生活指導委員会】
- ◎ 教育相談体制の構築 < 「相談できる大人・友だち」がいない生徒」を0に！ > 【教育相談コーディネーター】

(6) 【学校評価アンケート】 内容再検討・アンケート結果の分析

(7) 【ICT環境の整備・活用】 【情報教育担当・視聴覚担当】

- ◎ 一人一台端末環境を有効に活用する環境整備・デジタルシチズンシップの推進
- ◎ 電子黒板の効果的な活用と管理（視聴覚担当と連携しながら）

三浦市立南下浦中学校 グランドデザイン



三浦市教育大綱
三浦市学校教育ビジョン

『「三浦らしい教育」の実現～未来社会を生き抜くために』
『三浦の良さを生かしたつながりと深まりのある小中連携教育の推進』
～未来をたくましく **しなやかに生きる** 子どもを育むために～



学校教育目標

『 **自立** ・ **共生** ・ **貢献** 』

自ら生きる

ともに生きる

社会に生きる

学校経営方針

互いの『よさ』を認め合い、高め合い、共に成長を喜び合える学校を創造しよう

- (1) 安全を守り、安心して学校生活を送れる環境づくり
- (2) 授業を通じた学校教育目標の実現への**挑戦**
- (3) 保護者・地域、関係諸機関と連携した**地域に開かれた学校づくり**
- (4) 教職員の**ライフ・ライフ・バランス**（日々の生活 [Life] と自らの人生 [Life] の両立）の実現

行動指針 挑戦 ・ 認め合い ・ 感謝

めざす生徒の姿

高め合い、挑戦する生徒

- 【自立】自分のよさを見だし、自ら判断し、自ら行動する生徒
- 【共生】仲間のよさを認め、互いを尊重しながらよりよく生きようとする生徒
- 【貢献】郷土三浦を愛し、地域・社会に貢献する生徒

期待する教師像

学び続け、挑戦する教師

- 生徒のよきモデルとなる教師
- 生徒の気持ちに寄り添う教師
- 自分のよいところを発揮する教師
- 仲間と協働・協調しながら挑戦する教師

3本柱の充実

重点目標①

★ 基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、主体的に学習に取り組む生徒を育てる

自立的な学習者・学びの意義の実感

重点目標②

★ 自己肯定感をもち、互いに協働しながら、持続可能な社会の創り手となるようとする生徒を育てる

ともに過ごす感動

重点目標③

★ 基本的な生活習慣を定着し、よりよい人間関係を形成しながら、自己実現を図ろうとする生徒を育てる

地域に愛される南中

学習指導

一人ひとりの思いを大切に

- 学びに向かう姿勢
- 対話的な学習
- 「見通し」と「振り返り」
- 自学自習

道徳・特活・総合の指導

一人ひとりの居場所づくりを

- 自己肯定感
- 人権感覚
- 集団生活の向上
- 他者への貢献

生活指導

一人ひとりに心を込めて

- 規律・礼儀・あいさつ
- 安心・安全な生活
- 望ましい人間関係の構築
- 生き方としての進路

地域との協働

お互いの顔が見える信頼関係

- 積極的な学校公開・情報発信
- 地域行事への参加と貢献
- 小中連携

自分も大切、相手も大切 ・ 安心・安全に学べる学習環境

誰もが幸せに生活できる学校・社会